



# 校長室だより 2

黒部市立荻生小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和6年1月25日  
5年度第30号

先日、あおぞら級をのぞいてみると、ひまわり級と合同でお楽しみ会（第5回お誕生会）をしているところでした。プログラムの4番目「ビンゴ」の時間で、根塚先生が読み上げた数字を各自が手元のカードで探していました。見事ビンゴになる子が続々と出てきました。賞品をもらえる楽しみもありますが、「数字を探すこと」そのものが、特に低学年の子供にとっては算数の学習の一つになっているようです。子供のそばにいた芦崎先生がさりげなくヒントを出しながらいっしょに数字を探し、サポートをしていました。

プログラム表の準備をしたり、始めや終わりの言葉を読んだりするのは国語の学習でもあり、またこうした会全体を通して、時と場に応じたコミュニケーションの力や互いを理解し合う人間関係づくりの力を高めることにもつながっていると思いました。楽しく取り組みながら学びにつながる、こうした時間が一番ですね。

## 給食週間の取組がスタートしました

全国給食週間に合わせ、本校も23日（火）～30日（火）を校内の給食週間としました。食への関心を高めること、望ましい食習慣を身に付けること、給食に携わる人々に感謝すること等をねらいとしています。

子供たちは早速各教室で給食に関する標語や感謝の手紙等を書きました。また、給食委員の子供が分担してランチルームでの発表を行っています。

さて、毎日の給食の準備は主任校務助手の吉松さんが先行して取りかかり、4限後は当番の子供や教職員が合流して分担で行っています。縦割りの荻っ子班で仲良く食べたあとは、高学年の当番が中心となって最後の片付けを、また、各テーブルの上や足元は皆で協力してきれいにします。おいしくただけだけでなく、準備から後片付けまでの一連の時間が食育の場となっています。

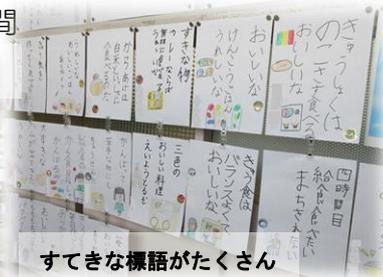
### ★荻っ子が考えたメニューが給食に登場しました！

給食週間初日の23日は、本校の6年生が2学期に皆で考えたメニューが採用され、市内全小中学校の給食に登場しました。

- ・わかめごはん
- ・ワンタンスープ
- ・豚肉のカシューナッツいため
- ・赤じそ和え
- ・牛乳



松本先生と協力してご飯をよそいます



すてきな標語がたくさん



給食委員の発表



後片付けタイム

この日は給食委員のアナウンスでこのことが知らされました。「へー」と目の前の給食を興味津々でじっと見直す子もいました。食べると「うん、おいしい！」担任の田中先生によると6年生は「栄養バランスのことなどをよく考えながら学級で決めていました。私も感心しました」とのこと。なるほど！ごちそう様でした。皆いつも以上に完食し、残食も少なかったようです。

★この「校長室だより」のカラー版は本校ホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

## 「たくましい子」への道、いろいろ取り組んでいます

冬季の運動遊びとして縄跳びに取り組んでいることは前号でも取り上げましたが、本校で目指している「たくましく」の中には、体力の向上だけでなく、保健、給食（食育）、安全といった面があり、それぞれ児童会活動等と絡めながらいろいろな取組を行っています。

保健委員会では廊下を安全に歩くことを促すポスターを作り、「歩こうね運動」を進めています。その成果か、最近では廊下を勢いよく走ったり階段を飛び降りたりする子がぐっと減り、ケガ等の発生リスクも小さくなりました。

一方、4限後の給食準備の時間を利用し、当番以外の子は音楽に合わせて簡単な体操をしています。腕や肩、首回りの筋肉をほぐし、最後は遠方を凝視します。ほんの数分間ですが緊張がほぐれ、視力の回復にも効果がありそうです。小さなことも毎日続け、心身ともに健康な「たくましい子」を目指しています。

### シリーズ「教室におじゃまします」1/23(火)5年家庭科の巻

家庭科室での「ミシンの使い方を知ろう」の学習でした。手縫いよりも速く丈夫に縫える便利な道具ですが、思わぬ事故につながる可能性もあります。担当の鈴木教頭先生といっしょに「安全に学習するために注意すること」を確認しました。①急に友達にさわらない ②ミシンの音をよく聞く ③手元をよく見る つまり集中して学習することがやはり大事であるということですね。

今回ミシンは1台を3人で使います。重いミシンをおそるおそる運び、カバーを外して準備します。今日は電源を入れず（コントローラーは外したまま）、上系のかけ方を重点的に実習しました。教科書に図があり、ミシン本体にも糸のかけ方のガイドとなる印がありますが、それでも初めての子たちにとってはおっかなびっくりな様子で、先生の説明を聞きながら考え考え取り組んでいました。こういうときはやはり友達同士の助け合い、教え合いが大事ですね。

授業の終わりに教頭先生が確かめの質問をしました。「自分でやってみた人?」「友達を見ていた人?」「なんとなく次からはできそうな人?」「友達といっしょならできそうな人?」

まだ不安のありそうな子もちらほらいましたが、「今週は家庭科の授業がもう少しあるのでまた練習して上手になっていきましょう」という先生の言葉にホッと、次が楽しみな顔をしている子供たちでした。

**おまけのくひとこと** >「この冬一番の寒気」「警報級の大雪に注意」が更新され、24日（水）は大寒の時季らしい雪に…。しかし元気な子供たちにとっては待ちに待った雪のようで、大休憩も昼休みもスキューウェアで外に飛び出し雪遊びをする姿が見られました。「学校に来たからには思い切り楽しむぞ!」というのが子供らしいなあと思います。給食の時間もしっかり。午前中に上手いことやモヤモヤすることがあった子も、ひとまずおいしい給食を食べて心も体もリセットし、午後の折り返しを楽しく乗り越えてほしい。「給食を食べに学校に来る」という子がいてももちろんいいと思っています。私もかつてそういう子供でした。

★この「校長室だより」のカラー版は本校ホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。